

2023年3月13日

「不動産エバリュエーション事例コンテスト 2022」 受賞者による事例発表動画を公開！

推進センターでは、昨年9月～10月に「不動産エバリュエーション」の成功事例を募集し、応募のあった事例について厳正な選考を重ねた結果、下記3事例を受賞事例として決定しました（2022年12月19日発表）。

この度、受賞者自身による事例紹介動画と、明海大学不動産学部 学部長・教授 中城康彦先生の講評をホームページで公開しました。

どなたでも申込不要、無料で視聴いただけます。

【大賞（2事例）】

- 「名駅二丁目三番街 再生の物語」／株式会社泉不動産 足立幹和様
（再生時間 約15分）
- 「これからの京町家～高断熱・高気密を取り入れたリノベーション住宅～」
／株式会社 八清様
（再生時間 約17分）

【優秀賞（1事例）】

- 「近年の社会経済の変化に伴う新しい住まい方の有効需要層を求めて、
賃貸マーケット情報分析を基に貸室仕様の工夫と収益再生のバリューアップに
取り組んでみた」
／レールウェイサービス株式会社 増田善弘様
（再生時間 約25分）

【講評】 明海大学不動産学部 学部長・教授 中城康彦先生

▼下記 URL よりご覧いただけます。
<https://www.retpc.jp/evacon/>

「不動産エバリュエーション」の普及、浸透を目指した活動について

「不動産エバリュエーション」とは、「土地」と「建物」についての深い造詣を基に対象不動産の真の価値を見極めて、有効活用・バリューアップを実現することです。

この「不動産エバリュエーション」の考え方は、明海大学不動産学部 学部長・教授 中城康彦先生が当コンテストの講評の中でも説明してくださっています。

推進センターでは、この「不動産エバリュエーション」の普及、浸透を目指し、当コンテストの開催や「不動産エバリュエーション専門士」（「公認 不動産コンサルティングマスター」の上位資格）認定などの取り組みを行っています。

「不動産エバリュエーション事例コンテスト」は、2018年より開催しており、今回で3回目の開催となります（※）。

◆ 「不動産エバリュエーション事例コンテスト」募集テーマ

- ①既存建物の工法や技術、建材や設計デザイン等、高性能、高付加価値及び高品質なものを見出し、その土地の調査やエリアマーケティングを踏まえ活用した事例
- ②リフォーム、リノベーション、コンバージョンといった手法を用いて 既存建物の価値を、その土地の調査やエリアマーケティングを踏まえ クリエイトした事例

※2018年は旧名称「建物エバリュエーション事例コンテスト」として開催しました。
また、2020年～2021年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりコンテストの開催を休止しました。

以上